県営土地改良事業

農村地域防災減災事業(用排水施設等整備事業)

(湛水防除事業　排水施設整備対策工事)

出　来　島　地　区

土 地 改 良 事 業 計 画 概 要 書

事業主体　佐賀県

土地改良事業計画概要書　　目　次

第１章　目　　的　・・・・・１
第２章　地域の所在及び現況　・・・・・１
　１．地域の所在
　２．地　　積
　３．現　　況
第３章　基　本　計　画　・・・・・２
　１．一　般　計　画
　２．環境への配慮
第４章　工事又は管理の要領　・・・・・２、３
　１．工事の要領
　２．管理の要領
第５章　換地計画の要領　・・・・・３
第６章　費用の概算　・・・・・３
第７章　効　　用　・・・・・３
第８章　他の事業との関係　・・・・・３
第９章　計画概要図　・・・・・３

第１章　　目　的

本地区は佐賀県神埼市に位置し、筑後川右岸側の低平地に広がる水田農業地帯であり、水稲を中心に麦類、大豆、野菜等の複合経営が展開されている。

近年、令和２年７月、令和３年８月降雨に代表されるような豪雨が頻発しており、地区内の農地や周辺宅地等の湛水が常態化し農業経営に深刻な支障をきたしている。

このため、本事業により排水機場による排水対策を行い地区内における湛水被害を軽減し、本地域の農村地域の防災力の向上を図ることで健全な農業経営の回復に資するものである。

第２章　　地域の所在及び現況

（１）地域の所在　　佐賀県神埼市千代田町迎島、柳島、渡瀬

（２）地　積

現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
神埼市	134.7	0.1				134.8	

（３）現　況

本地区の農業排水は、自然排水と機械排水方式であり、各ほ場から用排水兼用水路（三田川線、浮島線等）に流下し、末端排水施設（排水樋門・排水機場）を介して、筑後川に排水されている。

さらに、営農面においても農事組合法人等の担い手による集積が進み、米、麦、大豆の作付けが中心であるが、アスパラガスなどの施設園芸作物の導入も積極的に行われている。

第３章　　基本計画

（１）一般計画

本地区は、線状降水帯の発生など、降雨形態の変化に起因される降雨量の増加や混住化等に伴う地区内流出量の増加に加え、排水河川の水位上昇により降雨時に有効な自然排水が行えず農地や宅地の湛水・浸水被害が生じている。

このため、排水機場を新設し、地区内の湛水被害の軽減を図る。

（２）環境への配慮

当地区は、神埼市田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域となることから、新設する排水機場は周辺景観になじむ形状や色彩等とする。また、生態系に係る影響の軽減・除去を図るために工事区間にいる水生生物および植物は施工区域外の周辺水路へ移殖・移植をする。

第４章　　工事又は管理の要領

（１）工事の要領

項　目	改　修　補　強　工　法
排水機場	・排水機場を新設する 建屋一式　ポンプ設備　φ1200（エンジン駆動）×2台　φ900（モーター駆動）×1台 除塵設備一式　水門設備一式

（２）管理の要領

１）管理施設の種類

排水機場　１箇所

２）管理施設の方法

工事完了後の維持管理については神埼市が行い、日常の維持管理及び、大雨時の操作については操作員が行う。

第５章　　換地計画の要領

該当なし

第６章　　費用の概算

総事業費　　4,584,000 千円（工事費 4,453,000 千円、事務費 131,000 千円）

第７章　　効用

本事業を行うことで、洪水等の災害の発生に伴う農作物、農用地、農業用施設等の農業関係資産、公共資産の被害が防止又は軽減される。これにより、農業生産の維持及び農業経営の安定が図られる。

（単位：千円）

総費用	8,432,237	作物生産効果額	24,953	災害防止効果額(一般資産)	4,931
総便益額	21,729,043	営農経費節減効果額	41,954	災害防止効果額(公共資産)	3,624
総費用総便益比	2.57	維持管理費節減効果額	△15,902	国産農産物安定供給効果額	3,875
		災害防止効果額(農業関係資産)	1,085,060		

（参考）総便益（現在価値化）　＝21,729,043 千円

総費用（現在価値化）　＝　当該事業　＋　関連事業費　＝　8,432,237 千円

評価期間（当該事業の工事期間＋40 年）＝　46 年　うち、工事期間　＝　6 年

費用対効果　＝　21,729,043 千円／8,432,237 千円≒2.57

第８章　　他事業との関係

該当なし

第９章　　計画概要図

別添　位置図及び計画一般図参照